

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 1 日 (2021.4.1)

【公開番号】特開 2020-11403 (P2020-11403A)

【公開日】令和 2 年 1 月 23 日 (2020.1.23)

【年通号数】公開・登録公報 2020-003

【出願番号】特願 2018-133378 (P2018-133378)

【国際特許分類】

B 2 9 C 65/00 (2006.01)

G 0 1 N 37/00 (2006.01)

B 0 1 J 19/00 (2006.01)

B 8 1 C 3/00 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 65/00

G 0 1 N 37/00 1 0 1

B 0 1 J 19/00 3 2 1

B 8 1 C 3/00

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 12 日 (2021.2.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

少なくとも第 1 材料の接合面を H₂O プラズマに曝した後、第 1 材料と第 2 材料の両接合面を 5～50 の温度雰囲気下で合わせることにより、両材料は接合される。その際、接合面に圧力を付与する必要はほとんどなく、0.2g 程度の材料の場合、その自重で十分強固な接合が成される。ただし、圧力を付与することを排除するものではなく、通常のマイクロ流路チップの場合（例えば、流路の幅が 100 μ m 以下、深さが 50 μ m 以下程度の場合）、30kPa 程度の圧力を付加することが可能である。これにより接合をより確実にすることができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 0】

まず、第 1 板 6 1 と第 2 板 6 2 を図 3 (a)、(b) のように互いに直交するように重ねる。こうして重ねた第 1 板 6 1 と第 2 板 6 2 のセットを 3 組用意し、図 4 (a) 及び (b) に示すように、2 枚の剛性のある平板 6 5、6 6 の間に挟む。これを水平な台の上に置き、上の平板 6 5 の上に重錘 6 7 を置く。平板 6 5、6 6 としては厚さ 625 μ m のシリコンウエハを使用し、重錘 6 7 は質量 1kg のものを使用した。重錘 6 7 の質量と比べると上の平板 6 5 及び第 1 板 6 1 自身の質量は無視できる程度であるため、第 1 板 6 1 と第 2 板 6 2 の接合面に負荷される圧力は約 0.33kgf/cm²（約 33kPa）である。